

PHILIPS

サウンドバー

5000 シリーズ

TAB5201



ユーザーマニュアル

製品を登録し、サポートを受けるために、以下にアクセスしてください。

www.philips.com/support

目次

1	安全性に関する重要な注意事項	3	5	製品仕様	17
	安全性	3			
	製品のお手入れ	4			
	環境への配慮	4	6	トラブルシューティング	18
	適合宣言	5			
	ヘルプとサポート	5	7	商標	19
2	あなたのサウンドバー	5			
	パッケージ内容	5			
	サウンドバー	6			
	コネクタ	6			
	リモコン	7			
	リモコンの準備	7			
	取り付け	8			
	壁面取り付け	9			
3	接続	10			
	HDMI ソケットへの接続	10			
	光ソケットへの接続	10			
	音声入力ソケットに接続	10			
	電源への接続	11			
4	サウンドバーの使用	11			
	アプリのダウンロード	11			
	電源のオン/オフ	12			
	モードの選択	12			
	音量の調整	12			
	低音/トレブルレベルの調整	12			
	イコライザー (EQ) 効果の選択	13			
	LED 表示のオン/オフインジケータ	13			
	DTS Virtual X	13			
	自動音量調整	14			
	Bluetooth 機器での再生	14			
	外部機器での再生	15			
	USB を使用したオーディオの再生	16			
	工場出荷時の状態にリセットする	16			



1 安全性に関する重要な注意事項


製品を使用する前に、すべての指示を読んで把握しておいてください。損傷が発生しても、指示に従わなかったことが原因の場合、保証は適用されません。

安全性

安全記号について把握する


マーキング情報は、製品の下部または背面にあります。

	注意 感電のリスク開けないでください	
注意：感電の危険を減らすため、カバー（または背面）は絶対に取り外さないでください。内部にはユーザーが修理できる部品はありません。修理は資格を持つサービス担当者に依頼してください。		


 これは二重絶縁を備えたクラス II 装置です。ただし保護接地は備えていません。

 AC 電圧

 記号は DC 電圧を示します

 ユーザーマニュアルの指示に従ってください。

 **警告**
警告：感電の危険があります。

 エクスクラメーションマーク (!) は、重要な操作上の指示があることをユーザーに警告することを意図しています。

感電や火災の危険

- 接続を確立または変更する前に、すべての機器を電源コンセントから外しておいてください。

- 本製品および付属品を雨や水にさらさないでください。液体が入った容器（花瓶など）を本製品の近くに置かないでください。液体が本製品の上にごぼれたり内部に入ったりした場合は、直ちに電源コンセントを抜いてください。本製品の使用前に点検を受けるには、お客様情報センターにお問い合わせください。
- 本製品および付属品は、裸火などの熱源（直射日光を含む）の近くに置かないでください。
- 本製品の換気口などの開口部に物を挿入しないでください。
- 主電源プラグまたは電源接続器を切断装置として使用する場合は、切断装置をすぐに操作できる状態にしておいてください。
- 電池（取り付けた電池パックまたは電池）は、直射日光や炎などの高温になる熱にさらさないでください。
- 雷が発生しそうな場合は、その前に、本製品の電源コードをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを抜くときには、必ずプラグを掴んで引いてください。ケーブルは絶対に引っ張らないでください。
- 本製品は熱帯または温帯の地域で使用してください。

ショートや火災の危険

- 識別番号および電源供給定格については、製品の背面または底面にある型式プレートを参照してください。
- 本製品を電源コンセントに接続する前に、電源電圧が製品の背面または底面に印刷されている値と一致しているようにしてください。電圧が異なる場合は、本製品を電源コンセントに接続しないでください。

怪我や本製品損傷の危険

- 本製品を壁面に取り付ける場合は、設置についての指示に従って壁にしっかりと固定してください。付属の壁面取り付けブラケットのみを使用してく

ださい（ある場合）。壁面取り付けが不適切だと、事故、負傷、または損傷が発生することがあります。ご不明な点は、お住まいの国のお客様情報センターまでお問い合わせください。

- 本製品や物を電源コードの上、または他の電気機器の上に置かないでください。
- 本製品が 5°C 未満の気温で輸送されてきた場合は、製品を開梱して製品が室温と同じ温度になるのを待ってから電源コンセントに接続してください。
- 本製品にはガラス製の部品が使用されている場合があります。負傷や損傷を防ぐため、十分注意して取り扱ってください。

オーバーヒートの危険

- 本製品は絶対に閉鎖空間内に設置しないでください。製品の周囲には 10 cm (4 インチ) 以上の隙間を空けておき、換気ができるようにしてください。カーテンなどの物によって本製品の換気スロットが覆われることがないようにしてください。

電池の使用に関する注意

- 注意：正しくない電池交換をした場合には、爆発の危険があります。同じまたは同等のタイプの電池と交換してください。
- 電池が消耗している場合、またはリモコンを長時間使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池には化学物質が含まれています。リサイクルまたは廃棄については、国や地域のガイドラインに従ってください。
- 装置に記されている「+」および「-」のマークに従って、すべての電池を正しく取り付けてください。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- アルカリ電池、標準電池（カーボン亜鉛電池）、または充電式電池（Ni-Cd、Ni-MH など）を混ぜて使用しないでください。

- 電池（電池または電池パック）は、直射日光や炎などの高温になる熱にさらさないでください。
- 電池を廃棄するときには、燃やしたり焼却炉で処理したり、機械的に潰したり切断したりしないでください。
- 電池を極端に低い気圧下で管理しないようにしてください。

注

- 定格ラベルは、機器の底面または背面に貼り付けられています。

製品のお手入れ

本製品のクリーニングにはマイクロファイバークロスのみを使用してください。

環境への配慮

古くなった製品や電池の廃棄



本製品は、リサイクルと再利用が可能な高品質の素材とコンポーネントを使用して設計および製造されています。



製品のこの記号は、製品が欧州指令 2012/19/EU の対象となっていることを意味します。



この記号は、本製品に欧州指令 2013/56/EU の対象となる電池が含まれており、通常のごみと一緒に廃棄できないことを意味します。

電気／電子製品および電池の廃棄については、地域の分別収集システムを把握しておいてください。地域の規則に従い、本製品や電池を通常のごみと一緒に廃棄しないでください。古い製品や電池の廃棄が適切であれば、環境や人の健康に悪影響を及ぼすことがなくなります。

使い捨て電池の取り外し

使い捨て電池を取り外すには、電池の取り付けに関するセクションを参照してください。

適合宣言

本製品は、欧州共同体（EC）の無線干渉要件に準拠しています。

これにより、TP Vision Europe B.V. は、製品が RED 指令 2014/53 / EU および英国無線機器規則 SI 2017 No 1206 の必須要件およびその他の関連規定に準拠していることを宣言します。適合宣言は www.philips.com/support にあります。

ヘルプとサポート

次の Web サイトにアクセスすると、次のような広範なオンラインサポートを受けることができます。 www.philips.com/support

- ユーザーマニュアルとクイックスタートガイドをダウンロードする
- ビデオチュートリアルを視聴する（一部のモデルのみについて提供）
- よくある質問（FAQ）から回答を探す
- 質問をメールで送信する
- サポート担当者とはチャットする

Web サイトの指示に従って言語を選択し、製品のモデル番号を入力します。

お住まいの国のお客様情報センターにお問い合わせいただくこともできます。お問い合わせいただく前に、製品のモデル番号とシリアル番号を書き留めておいてください。この情報は製品の背面または底面にあります。

2 あなたのサウンドバー

フィリップス製品をご購入いただきありがとうございます。フィリップスが提供するサポートを最大限に活用するには、サウンドバーを www.philips.com/support で登録してください。

パッケージ内容

次の品目がパッケージに入っていることを確認してください。

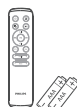
- サウンドバー ×1
- リモコン ×1
(単4形電池×2)
- 電源コード* ×1
- 壁面取り付けキット ×1
- クイックスタートガイド / 保証カード / 安全シート ×1
- 壁面取り付けテンプレート ×1



サウンドバー



壁掛けキット
(ブラケットx2 / ブラケット
ネジx4 / ガムカバーx4)



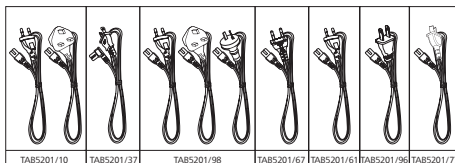
リモコン
(単4電池×2)



クイックスタートガイド
保証書 / 安全シート



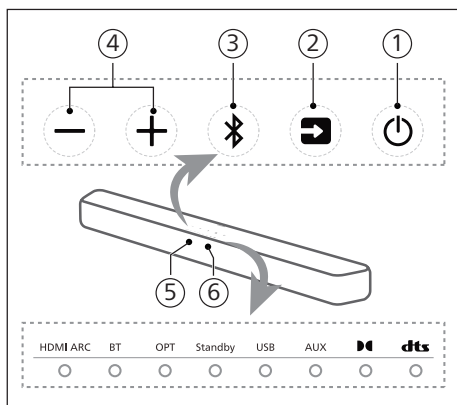
壁面取り付け
テンプレート



- 電源コードの数とプラグのタイプは地域によって異なります。
- 本ユーザーマニュアルに記載されている画像および図は、あくまで参考であり、実際の製品の外観は異なる場合があります。

サウンドバー

このセクションでは、サウンドバーの概要について説明します。



① 電源 (スタンバイ - オン)

- サウンドバーをオンまたはスタンバイに切り替えます。
- 電源オン状態で 8 秒間長押しすると、自動スタンバイ (15 分経過後に自動的にスタンバイ状態になる) が有効または無効になります。

② ソース (ソース) ボタン

サウンドバーの入力ソースを選択します。

③ Bluetooth ボタン

- Bluetooth モードを選択するときに押します。
- 3 秒間長押しすると、Bluetooth ペアリングモードになります。
- 8 秒間長押しすると、すべての機器が切断され、BT 接続履歴リストがクリアされ、ペアリングモードになります。

④ 音量 (音量) ボタン

音量の上げ下げを行います。

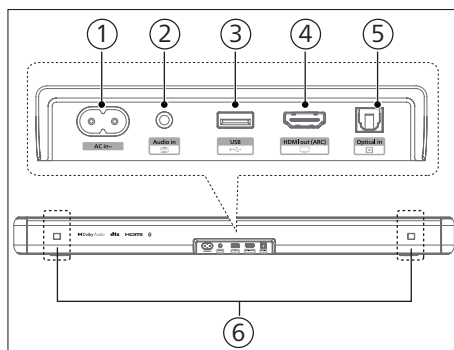
⑤ リモコンセンサー

⑥ サウンドバーの LED インジケーター

LED の状態	ステータス
HDMI ARC	点灯 (ホワイト) HDMI ARC モード
BT	点灯 (ブルー) Bluetooth (クラシック) モード 点灯 (ホワイト) Bluetooth (LE Audio) モード
OPT	点灯 (ホワイト) OPTICAL モード
Standby	点灯 (レッド) スタンバイモード
USB	点灯 (ホワイト) USB モード
AUX	点灯 (ホワイト) AUX モード
	点灯 (ホワイト) Dolby Audio
	点灯 (ホワイト) DTS Audio

コネクター

このセクションでは、サウンドバーで使用できるコネクターの概要について説明します。



① AC ~ソケット

電源に接続します。

② Audio in (オーディオ入力)ソケット

MP3 プレーヤー (3.5 mm ジャック) などからのオーディオ入力。

③ USB

- USB ストレージデバイスを接続してオーディオメディアを再生します。
- この製品のソフトウェアをアップグレードするためにも使用します。

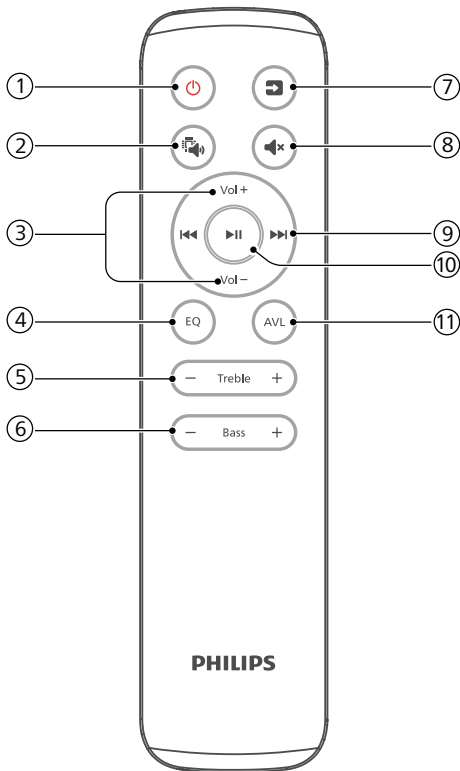
- ④ HDMI ARC ソケット
このポートは ARC HDMI 機能をサポートし、テレビの HDMI (ARC) 入力に接続します。
- ⑤ Optical in (光入力) ソケット
テレビまたはデジタル機器の光オーディオ出力に接続します。
- ⑥ 壁面ブラケットスロット

リモコン

このセクションでは、リモコンの概要について説明します。

- ① **⏻ (スタンバイ - オン)**
 - サウンドバーをオンまたはスタンバイに切り替えます。
 - 電源オン状態で 8 秒間長押しすると、自動スタンバイ (15 分経過後に自動的にスタンバイ状態になる) が有効または無効になります。
- ② **🔊 (IntelliSound)**
プリセット / カスタムモードを選択してください。
- ③ **[Vol + / Vol - (音量 + / 音量 -)]**
(サウンドバーの音量)
サウンドバーの音量を調節します。
- ④ **EQ**
イコライザー (EQ) 効果を選択します。
- ⑤ **Treble +/- (トレブル + / -)**
高音レベルを調整します。
- ⑥ **ベース +/- (サブウーファースの音量)**
サブウーファースの音量を調整します。
- ⑦ **📺 (ソース)**
ボタンを押して、サウンドバーの入力ソースを選択します。
- ⑧ **🔇 (ミュート)**
ミュートまたは音量を復元します。
- ⑨ **⏮ / ⏭ (前へ / 次へ)**
USB / BT モードで前または次のトラックにスキップします。

- ⑩ **▶|| (再生 / 一時停止)**
USB / BT モードで再生を開始、一時停止、または再開します。
- ⑪ **AVL**
自動音量調節のオン / オフおよび夜間モード。

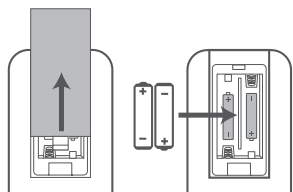


リモコンの準備

- 付属のリモコンを使用すると、離れた場所からでもユニットを操作できます。
- 有効範囲の 6 m (19.7 フィート) 以内でリモコンを操作していても、ユニットとリモコンの間に障害物がある場合には、リモコンの操作ができませんことがあります。
- 赤外線が発生する他の製品の近くでリモコンを操作している場合、また

は赤外線を使用した他のリモコン装置がユニットの近くで使用されている場合には、リモコンが正しく動作しないことがあります。逆に、他の製品側が正しく動作しないことがあります。

リモコンの電池交換



- 1 背面カバーを押した状態でスライドさせ、リモコンの電池収納部を開きます。
- 2 単4形電池2本（付属）を入れます。電池の「+」側と「-」側が、電池収納部に表示されている「+」側と「-」側に一致していることを確認します。
- 3 電池収納部のカバーを閉じます。

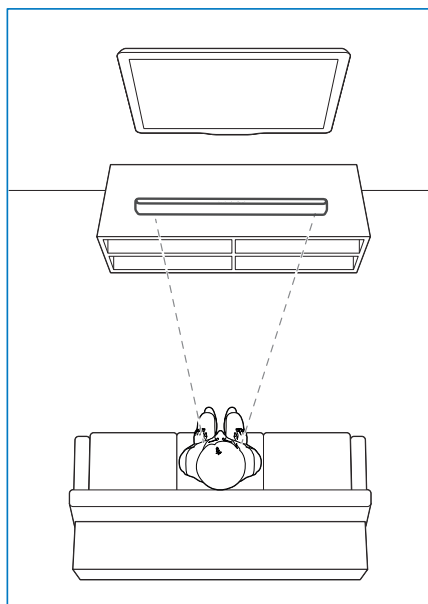
電池に関する注意事項

- 電池は、正の「⊕」と負の「⊖」の極性が正しい状態で挿入してください。
- 同じタイプの電池を使用してください。タイプの異なる電池を一緒に使用しないでください。
- 充電式電池パックと非充電式電池パックのどちらも使用できます。ラベルの注意事項を参照してください。
- 電池カバーと電池を取り外すときには、爪を痛めないように注意してください。
- リモコンを落とさないでください。
- リモコンに何らかの衝撃が加わらないようにしてください。
- リモコンの上に水や液体をこぼさないでください。

- リモコンを濡れている物の上に置かないでください。
- リモコンは直射日光の当たる場所や、高温になる熱源の近くに置かないでください。
- リモコンを長期間使用しない場合は、腐食や電池の液漏れが発生し、怪我、物的損傷、火災などの原因となる可能性があるため、本体から電池を取り出しておいてください。
- 指定されたもの以外の電池は使用しないでください。
- 新しい電池を古い電池と一緒に使用しないでください。
- 充電式であることが確認されない限り、バッテリーを充電しないでください。

取り付け

最良の結果を得るために、サウンドバーを下記のように配置してください。



壁面取り付け

注

- 壁面取り付けが不適切だと、事故、負傷、または損傷が発生することがあります。ご不明な点は、お住まいの国のお客様情報センターまでお問い合わせください。
- 壁面に取り付ける前に、壁がサウンドバーの重量を支えられることを確認してください。
- 壁面に取り付ける前に、サウンドバーの底部にあるゴム製の脚を取り外す必要はありません。ゴム製の脚は取り外すと 元に戻すことができます。
- 壁面取り付けのタイプに応じて、適切な長さと同径のネジを使用してください。
- サウンドバーの背面にある USB ポートが USB デバイスに接続されているかどうかを確認してください。接続された USB デバイスが壁面取り付けに影響を与える場合は、適切なサイズの別の USB デバイスを使用する必要があります。

ネジの長さ／直径

推奨の壁面取り付け高さ

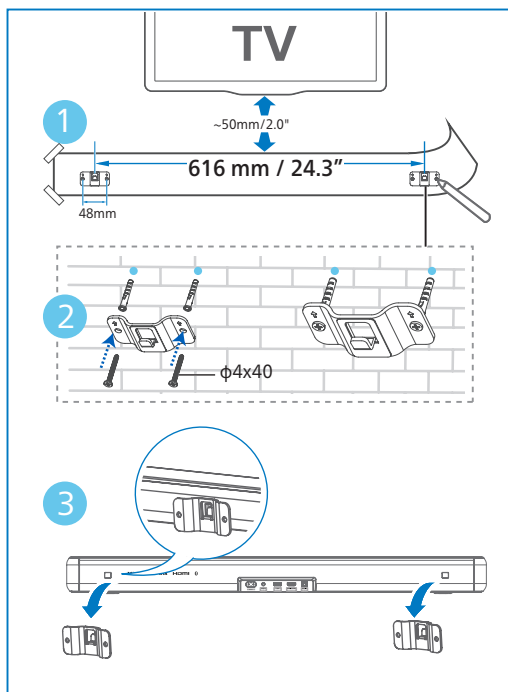
サウンドバーを壁面に取り付ける前に、まずテレビを取り付けることをお勧めします。テレビが事前に設置された状態で、テレビの底面から 50 mm (2.0 インチ) 離れた壁面にサウンドバーを取り付けます。

警告

- けがを防止するため、本装置は設置説明書に従って床／壁面にしっかりと固定する必要があります。
- 推奨の壁面取り付け高さ：1.5 m 以下。

- 1 平行する 4 つの穴（壁のタイプに応じて直径 3 ~ 8 mm）を壁面に開けます。
 - ↳ 穴間の距離は次のとおりです。**616mm / 24.3 インチ**
 - ↳ 壁の正しい位置にドリルで穴を開けるために、付属の壁面取り付けテンプレートを使用できます。

- 2 ネジ（付属）とドライバー（付属していない）で壁に壁面取り付けブラケットを締め付けます。しっかりと取り付けられていることを確認します。
- 3 ユニットの壁面取り付けブラケットの位置まで持ち上げ、スロットに組み合わせて取り付けます。



3 接続

このセクションでは、サウンドバーをテレビやその他の機器に接続してセットアップする方法について説明します。

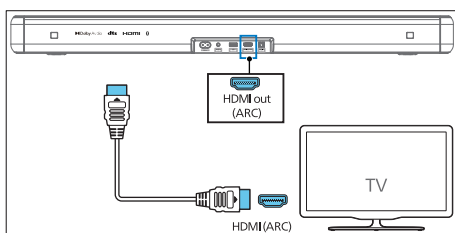
注

- 識別番号および電源供給定格については、製品の背面または底面にある型式プレートを参照してください。
- 接続を確立または変更する前に、すべての機器を電源コンセントから外しておいてください。

HDMI ソケットへの接続

HDMI ARC (オーディオリターンチャンネル)

サウンドバーは、ARC (オーディオリターンチャンネル) に準拠した HDMI に対応しています。テレビが HDMI ARC 対応であれば、HDMI ケーブルだけでサウンドバーからテレビ音声を再生できます。



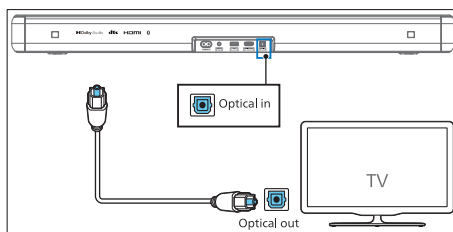
- テレビで HDMI-CEC 操作をオンにします。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。
 - テレビの HDMI ARC コネクタのラベルが異なる場合があります。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。
- 高速 HDMI ケーブルを使用して、サウンドバーの HDMI ARC コネクタをテレビの HDMI ARC コネクタに接続します。

注

- テレビが HDMI-CEC および ARC 機能に対応している必要があります。HDMI-CEC および ARC をオンに設定する必要があります。
- HDMI-CEC と ARC の設定方法は、テレビによって異なる場合があります。ARC 機能の詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。
- HDMI ケーブルが ARC 機能に対応していることを確認してください。

光ソケットへの接続

- 光ケーブルを使用して、サウンドバーの Optical (光) コネクタをテレビまたはその他のデバイスの Optical out (光出力) コネクタに接続します。



- デジタル光コネクタには、Spdif または Spdif out (Spdif 出力) というラベルが付いている場合があります。

音声入力ソケットに接続

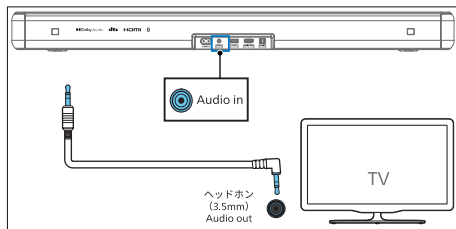
- 3.5 mm オーディオケーブルを使用する
- 3.5 mm のオーディオケーブルを使用して、テレビのヘッドフォンソケットをサウンドバーの [Audio in (オーディオ入力)] ソケットに接続します。

4 サウンドバーの使用

このセクションでは、サウンドバーを使用して、接続された機器からオーディオを再生する方法について説明します。

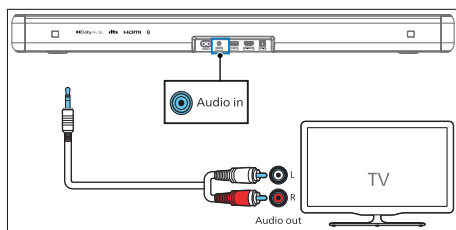
作業を開始する前に

- クイックスタートガイドおよび取扱説明書に記載されている必要な接続を行います。
- サウンドバーを他の機器に合わせて正しいソースに切り替えます。



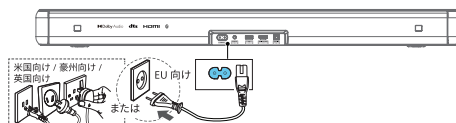
b. 3.5 mm-RCA オーディオケーブルを使用する

- 3.5 mm RCA オーディオケーブルを使用して、テレビのオーディオ出力ソケットをサウンドバーの [Audio in (オーディオ入力)] ソケットに接続します。



電源への接続

- AC 電源コードを接続する前に、他のすべての接続を完了しておいてください。
 - 製品損傷の危険があります。電源電圧が、ユニットの背面または底面に印刷されている電圧と一致していることを確認します。
- 1 主電源ケーブルをサウンドバーの AC~ ソケットに接続し、次に主電源ソケットに接続します。



* 電源コードの数とプラグのタイプは地域によって異なります。

アプリのダウンロード

QR コードをスキャンするか、Apple AppStore または GooglePlay で「Philips Entertainment」を検索して、アプリをダウンロードしてインストールします。



Download on the
App Store

GET IT ON
Google Play

Philips Entertainment 🔍

Philips Entertainment アプリでは、音量レベル、IntelliSound、サウンドスタイル (EQ)、自動音量調整、AV 同期、LED ライト、ソース選択などを設定できます。

電源のオン／オフ

- まずサウンドバーを主電源ソケットに接続すると、ユニットはスタンバイモードになります。
- リモコンまたはサウンドバーの **⏻** ボタンを押して、サウンドバーのオンとオフを切り替えます。
- サウンドバーを完全にオフにする場合は、主電源ソケットから主電源プラグを外します。

オートスタンバイ

テレビや外部サウンドバーが切断されている（または USB、BT 機能の再生が一時停止）、または電源が切られている場合、サウンドバーは約 15 分後に自動的にスタンバイモードに切り替わります。

- 電源オン状態で **[⏻]** ボタンを 8 秒間長押しして、自動スタンバイ（15 分間の自動スタンバイ）を有効または無効にします。

注

- HDMI (ARC) モードでは、オーディオ再生がないうま約 15 分経過すると、ネットワークスタンバイモードになります。
- Aux in、USB、光学、Bluetooth モードでは、音声再生がなければ約 15 分後に自動的にスタンバイモードに切り替わります。

モードの選択

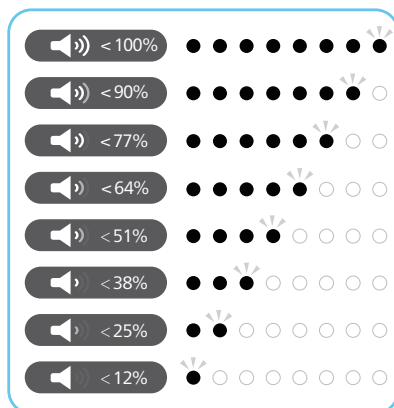
サウンドバーまたはリモコンの **[↔]** (ソース) ボタンを繰り返し押して、**[HDMI ARC]**、**[BT]**、**[BT (LE オーディオ)]**、**[OPT]**、**[USB]**、**[AUX]** モードを選択します。

- ↳ 再生ソースを切り替えると、それに応じてフロントインジケータが点灯します。

音量の調整

サウンドバーの音量の調整

- 音量を調整するには、**[Vol+ / Vol-]** (音量) を押します。
 - ↳ 音量を調整すると、インジケータの明るさが増減します。以下の図に示す対応するライトの表示／点滅に従って、現在の音量レベルを決定します。



- 音を消すには、**[Mute]** (ミュート) を押します。
- 音声を元に戻すには、もう一度 **[Mute]** (ミュート) を押すか、**[Vol+ / Vol-]** (音量) を押します。

低音／トレブルレベルの調整

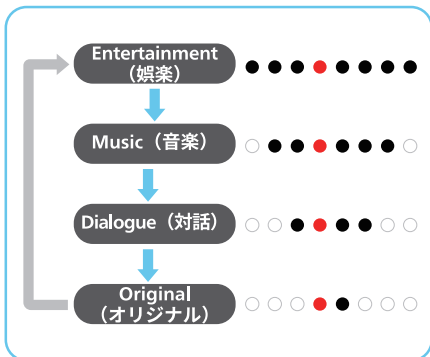
- **[Bass +/-]** ボタンを押して低音域 (ベース) を変更します。
- 高周波数域 (トレブル) を調整するには、**[Treble +/-]** ボタンを押します。

低音／ トレブル	LED の状態
+5	○●●●●●◎○○
+4	○●●●●◎○○○
+3	○●●◎○○○○○
+2	○●◎○○○○○
+1	○◎○○○○○
0	●○○○○○●
-1	○○○○○○◎○
-2	○○○○○○◎●○
-3	○○○○◎●●○
-4	○○○◎●●●○
-5	○○◎●●●●○

イコライザー (EQ) 効果の選択

ビデオや音楽に合わせて、あらかじめ定義されたサウンドモードを選択します。

- 1 リモコンの [EQ] ボタンを押して、希望のプリセットされたイコライザー効果を選択します。
- 2 [EQ] ボタンを押して、モードを切り替えます。
↳ LED は 3 秒間点灯し、EQ モードの定義に従って現在の EQ モードを表示します。



LED 表示のオン／オフインジケータ

- リモコンの [MUTE] (ミュート) ボタンを 5 秒間長押しすると、LED 表示が有効 / 無効になります。
↳ オフ: いずれかのボタンを押すと、点灯した LED は通常の状態に戻ります。LED は 10 秒間のアイドリング後に自動的に消灯します。
↳ ON (オン): 点灯した LED は自動的に消灯しません。

※ ヒント

- スタンバイ中は、LED の表示がオフに設定されているとしても、スタンバイ LED がオンになります。

DTS Virtual X

DTS Virtual:X により、部屋の大きさ、レイアウト、スピーカーの構成に関係なく、多次元サウンドを楽しむことができます。

DTS Virtual:X テクノロジーは、DTS 独自の仮想の高さと仮想のサラウンド処理を特徴としており、あらゆるタイプの入力ソースやスピーカー構成から臨場感あふれるサウンド体験を実現します。

Philips Entertainment アプリで DTS Virtual X バーチャライザーを有効または無効にします。

ステータス	LED の状態
ON	○○○●●○○○ (← →) (中央の 2 つの LED が右 / 左に広がります)
OFF	●○○○○○○● (→ ←) (2 つの点灯 LED が左右から中央に移動)

- **ON (オン)**: このモードでは、高スピーカーを使用しない場合に、仮想高さと仮想サラウンド処理機能のある DTS Virtual:X を使用して、3次元の音響場を実現します。
- **オフ**: 「DTS Virtual:X」を使用しません。

自動音量調整

自動音量を夜間モードと組み合わせます。**[AVL]** ボタンを押すと、オートボリュームのオン/オフまたはナイトモードを切り替えられます。

ステータス	LED の状態
OFF	○ ○ ○ ● ● ○ ○ ○
ON	○ ○ ● ● ● ● ○ ○
NIGHT	○ ● ● ● ● ● ● ○

- **オフ**: 「オート ボリューム」は使用しないでください。
- **ON (オン)**: さまざまなソースやコンテンツのタイプにリアルタイムで反応して、音量を一定に維持します。
- **NIGHT (夜間)**: あらゆるソースとコンテンツのタイプに対して一定の音量を維持し、音声や会話が強調されるようにして、静かなリスニング環境で聞き取りやすくなるようにします。

Bluetooth 機器での再生

Bluetooth を利用して、サウンドバーを Bluetooth 機器 (iPad、iPhone、iPod touch、Android フォン、ラップトップなど) に接続し、機器に保存されているオーディオファイルをサウンドバーのスピーカーから聴くことができます。

- 1 サウンドバーの **[*]** ボタンを押すか、リモコンの **[S]** (ソース) を押して **[BT]** (Bluetooth) モードを選択します。
↳ **BT** インジケーターがブルーに点滅します。
- 2 Bluetooth 機器で Bluetooth をオンにし、**Philips TAB5201** を検索して選択し、接続を開始します (Bluetooth を有効にする方法については、Bluetooth 機器の取扱説明書を参照してください)。
↳ 接続中は、**BT** インジケーターが青色に点滅します。
- 3 サウンドバーから音声ガイドが聞こえるまで待ちます。
↳ 正常に接続されると、**BT** インジケーターはブルーで点灯します。
- 4 Bluetooth 機器でオーディオファイルまたは音楽を選択して再生します。
 - 再生中に通話が着信すると、音楽再生が一時停止します。通話が終了すると再生が再開します。
 - Bluetooth 機器が AVRCP プロファイルに対応している場合は、リモコンで **[◀▶]** を押してトラックにスキップしたり、**[▶||]** を押して再生を一時停止 / 再開したりできます。

お使いのスマートフォンが **LE Audio** に対応している場合は、この新機能を体験することができます。

- 1 サウンドバーの **[*]** ボタンまたはリモコンの **[S]** (ソース) を押して、**BT (LE Audio)** モードを選択します。
↳ **BT** インジケーターがホワイトに点滅します。
- 2 **LE Audio** デバイスで設定を開き、Bluetooth をオンにします (**LE Audio** デバイスで **LE Audio** 機能が有効になっていることを確認してください)、**Philips TAB5201-LEA** を検索して選択し、接続を開始します。

LED	ステータス	名前
ブルー	BT	Philips TAB5201
ホワイト	BT (LE Audio)	Philips TAB5201-LEA

Bluetooth を終了するには、次のようになります。

- ユニットを別のソースに切り替えます。
- Bluetooth 機器から機能を無効にします。または、Bluetooth 機器を最大動作範囲外に置きます。音声ガイドが出された後、Bluetooth 機器がユニットから切断されます。
- サウンドバーの [※] ボタンを押し続ける。

注

- 障害物のないオープンな場所サウンドバーと Bluetooth 機器の最大動作範囲は約 10 m (30 フィート) です。
- すべての Bluetooth 機器との互換性が保証されているわけではありません。
- 機器とサウンドバーの間に障害物があると、音楽のストリーミングが中断される場合があります。たとえば、壁、機器を覆う金属製のケース、または同じ周波数で動作する近くにある他の機器などです。

外部機器での再生

サウンドバーがテレビまたはオーディオ機器に接続されていることを確認します。

- 1 サウンドバーまたはリモコンの [→] (ソース) ボタンを繰り返し押して、[HDMI ARC]、[OPT]、[AUX] モードを選択します。
↳ サウンドバーのインジケータライトに、現在使用中のモードが表示されます。
- 2 オーディオ機器を直接操作して再生機能を有効にします。
- 3 + / - (音量) ボタンを押して、音量を希望のレベルに調整します。

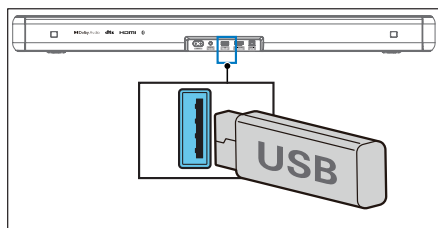
注

- OPTICAL / HDMI ARC モードで、ユニットから音声が出力されない場合は、ソース デバイス (テレビ、DVD、Blu-ray プレーヤーなど) で、PCM または Dolby Digital 信号出力をアクティブにする必要があります。

USB を使用したオーディオの再生

MP3 プレーヤーや USB フラッシュ メモリーなどの USB ストレージ デバイスでオーディオを楽しむことができます。

- 1 USB 機器を挿入します。



- 2 サウンドバーまたはリモコンの **EQ** (ソース) ボタンを繰り返し押し、USB モードを選択します。

- 3 再生時には次の操作ができます。

ボタン	操作
▶▶	再生の開始、一時停止、または再開
◀◀	前のトラックにスキップ
▶▶	次のトラックにスキップ

注

- 本製品は、特定のタイプの USB ストレージデバイスと互換性がない場合があります。
- USB 延長ケーブル、USB ハブ、または USB 多機能カードリーダーを使用すると、USB ストレージデバイスが認識されない場合があります。
- ファイルの読み取り中に USB ストレージデバイスを取り外さないでください。
- システムは、最大 128 GB のメモリーを持つ USB デバイスをサポートできます。
- このシステムは MP3 / WAV / FLAC を再生できます。
- USB ポートのサポート：5V \equiv 500mA。

工場出荷時の状態にリセットする

デバイスをデフォルト設定にリセットします。

- サウンドバーの電源を入れ、**+** ボタンと **-** ボタンを同時に 8 秒間押し続けます。
 - ↳ すべての LED が 5 秒間点灯し、スタンバイ LED が赤色で点灯し、その後再起動します。

項目	デフォルト設定
EQ	Entertainment (娯楽)
Master Volume (主音量)	10
Bass	0
Treble	0
IntelliSound	プリセット
Auto Volume (自動音量)	OFF
Night (夜間)	OFF
Source (ソース)	HDMI-ARC
BT pairing info (BT ペ어링情報)	Clear (クリア)
AV SYNC (AV 同期)	0
DISPLAY (表示)	ON
Auto Standby (Auto Power Down) (自動スタンバイ (自動電源オフ))	ON

5 製品仕様

注

- 仕様および設計は予告なく変更されることがあります。

Bluetooth

Bluetooth プロファイル	A2DP、AVRCP
Bluetooth バージョン	V 5.4
Bluetooth 周波数範囲/ 送信機電力 (EIRP)	2402 ~ 2480MHz < 10dBm

アンプ部

合計	RMS 80 W @THD <=10% 最大 160 W
----	---------------------------------

サウンドバー

電源	100 ~ 240V、 50/60Hz
消費電力	20 W
スタンバイ時の 消費電力	標準スタンバイモード：0.50 W 未満 ネットワークスタンバイモード：2.0 W 未満
周波数応答	60Hz ~ 20KHz
スピーカーのインピーダンス	8Ω x 2
USB ダイレクトバージョン	2.0 フルスピード
USB	5V = 500mA
寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	766 x 67.3 x 91 mm
重量	1.93 kg
動作温度	0°C ~ 45°C

リモコン

距離/角度	6m/30°
電池タイプ	単 4 形 (1.5 V x2)

対応オーディオ形式

HDMI ARC	LPCM 2ch、LPCM 5.1ch、Dolby Digital、Dolby Digital plus、DTS Digital surround 5.1
Optical (光学)	LPCM 2ch、LPCM 5.1ch、Dolby Digital、DTS Digital surround 5.1
Bluetooth	SBC
USB	MP3 / WAV / FLAC

6 トラブルシューティング

警告

- 感電の危険がありますので、本製品のケーシングは絶対に取り外さないでください。

保証の効力を失わないためにも、本製品は絶対に自力で修理しようとししないでください。


本製品を使用していて、故障かな、と思った場合でも、次のような点を確認した上で修理を依頼してください。問題が解決しない場合のサポートについては、www.philips.com/support までご連絡ください。

メインユニット

メインユニットのボタンが機能しない。

- 電源から数分間電源ケーブルを取り外し、それからもう一度接続します。

電源が入らない

- AC コードが正しく接続されているようにします。
- コンセントは電力が確実に来ているものを選びます。
- リモコンまたはサウンドバーの  ボタンを押して、サウンドバーをオンにします。

サウンド

サウンドバースピーカーから音が出ない。

- サウンドバーのオーディオケーブルをテレビやその他の機器に接続します。ただし、次の場合は、別のオーディオ接続は必要ありません。
 - サウンドバーとテレビが HDMI ARC 接続によって接続されている。
 - 機器がサウンドバーの HDMI 入力コネクタに接続されている。

- リモコンで、正しいオーディオ入力を選択します。
- サウンドバーがミュートになっていないことを確認します。
- いずれかのデジタル入力を使用しているときに音が出ない場合には、次のようにします。
 - TV 出力を PCM に設定してみる。
 - Blu-ray / その他のソースに直接接続する。
 - 一部のテレビがデジタルオーディオに対応していない。
- テレビが可変オーディオ出力に設定されている可能性があります。オーディオ出力設定が「VARIABLE (可変)」ではなく、「FIXED (固定)」または「STANDARD (標準)」に設定されていることを確認します。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。
- Bluetooth を使用している場合は、ソース機器で音量が上げられており、ミュートされていないことを確認します。

サウンドがひずむ、あるいはエコーがかかる。

- オーディオをテレビから本製品で再生する場合は、テレビをミュートにしておきます。

Bluetooth

機器をサウンドバーに接続できない。

- 機器がサウンドバーに必要な互換性のあるプロファイルに対応していません。
- 機器の Bluetooth 機能が有効になっていません。機能を有効にする方法については、機器の取扱説明書を参照してください。
- 機器が正しく接続されていません。機器を正しく接続してください。
- サウンドバーはすでに別の Bluetooth 機器に接続されています。接続されている機器を切断してから、再試行してください。

接続された Bluetooth 機器からのオーディオ再生の品質が良くない。

- Bluetooth の受信状態が良くありません。機器をサウンドバーの近くに移動させるか、機器とサウンドバーの間に障害物があればそれを取り除きます。

Bluetooth 機器でこのユニットの Bluetooth 名が見つからない。

- Bluetooth 機器で Bluetooth 機能が有効になっていることを確認します。
- ユニットと Bluetooth 機器を再度ペアリングします。

リモコンが機能しない

- 再生コントロールボタンを押す前に、まず正しいソースを選択してください。
- リモコンとユニットの距離をさらに近づけます。
- 図に示すように、電池を正しい極性 (+ / -) にして挿入します。
- 電池を交換します。
- リモコンをユニット前面のセンサーにまっすぐ向けて操作します。

7 商標



Adopted Trademarks HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, HDMI トレードドレス、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。



Dolby, Dolby Audio、および 2 つの D の記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporation の登録商標です。Dolby Laboratories からのライセンスを受けて製造されています。Confidential unpublished works. Copyright 1992–2019 Dolby Laboratories. All rights reserved.



Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、MMD Hong Kong Holding Limited によるこれらの商標の使用はライセンスを受けています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者のもので。



DTS, Inc. および / またはその関連会社のライセンスのもと製造。特許については、<https://xperi.com/dts-patents/>。DTS ロゴ、Digital Surround、Virtual:X、および DTS Virtual:X ロゴは、米国および / またはその他の国における DTS, Inc. および / またはその関連会社の商標または登録商標です。© DTS, Inc. および / またはその関連会社。All rights reserved.



Roku TV™ モデルをお持ちの場合、セットアップは簡単です。ケーブルを使用してサウンドバーをテレビの HDMI ARC ポートに接続し、画面の指示に従うだけです。

Roku、Roku ロゴ、Roku TV、Roku TV Ready、および Roku TV Ready ロゴは、Roku, Inc. の商標および / または登録商標です。



仕様内容は予告なく変更される場合があります。最新のアップデートとドキュメントについては、www.Philips.com/supportをご覧ください。

Philips および Philips のシールドエンブレムは Koninklijke Philips N.V. の登録商標であり、ライセンスを受けて使用されています。

本製品は MMD Hong Kong Holding Limited またはその関連会社の責任において製造され、販売されています。MMD Hong Kong Holding Limited は、本製品に関する保証者です。

